



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

# 大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

あなたの、君の「夢をかなえるゾウ」… 本がみなさんを成長させてくれます！

校長 新井 敬二郎

本校の図書室は、昼休み、放課後を中心にたくさんの生徒が利用しています。生徒のみなさんが使いやすいように、図書館司書の竹花美樹代先生が、いつもきれいに整理整頓されています。カウンター近くに先生方の推薦本コーナーがあり、山口泰由先生のお薦め本として水野敬也著「夢をかなえるゾウ」がありました。大好きな本なのでみなさんに紹介します。

少し不思議なお話です。ガネーシャは、ゾウの顔をしたインドの開運・お金・学問の神様です。しかし、この本に登場する神様は関西弁をしゃべり、どうもうさん臭い。口からは、自分が導いたというナポレオン、孔子、ニュートン、ビル・ゲイツなど著名人がドンドン出てきます。このガネーシャが、ダメダメサラリーマンの主人公に課題を与えながら成功に導いていくという生き方本です。初めの課題は「靴を磨く」こと。玄関先に無造作に脱いである靴をきれいに磨きなさい



というのです。ガネーシャの口からは以外にもヤンキースのイチローの名前が出され、「小学校の頃からイチローは野球クラブを大切にしてきた。自分を支えてくれるものを大切にできない者は成功しない。」と言い切る。

異議を唱える僕に、ガネーシャは「成功しないための一番の重要な要素は人の言うことを聞かないことだ」とズバリ言う。一つ課題をクリアするとさらなる課題が……「食事は腹八分目におさえる」「その日頑張れた自分をほめる」「明日の準備をする」等々、そして最後の課題が「毎日感謝する」ことが大切だというのです。おもしろくて、あっという間に読み終えてしまいました。

ガネーシャの教えの中で、私が実践しているものがあります。「お参りの裏技教えたるか?」「この方法使うと、願いがかなう確率がなんと三割増(ガネーシャ比)になんねん」「神様の所にはな、毎日毎日、世界各国津々浦々から『健康になりたい』『お金が欲しい』『恋人が欲しい』『幸せになりたい』で、お便りが寄せられるんや。まあ好き勝手願ひよるなあ自分らは。しかもその願ひ事かなえるために差し出すのが小銭で。自分らの幸せどんだけ安上がりですかーという話や」「けどな、そんな中でやで、たまに、もう、ほんのたまにやで、こんなんがおるんや。『いつもいつも良くしていただいて、神様ありがとうございます』『ぐっとくるよね。神様からしたら、そういうの、ぐっとくるよ。神様連中みんな言うてるよ。『今の、ぐっときたよね』って。もう、こういう子はな、優先的に願ひ事かなえたるのが、内々での暗黙の了解になってんのよ」「そやから、お参り行く時はいつも『ご先祖様のおかげで自分は幸せです。ありがとうございます』で感謝するんや。そしたらご先祖さんもテンション上がってやな、『困ってることないか?一肌脱ぐで』ちゅうことになるんや」

長い夏休み、ぜひたくさんの本を読んで大きく成長して下さい。

## ガネーシャの教え(例)

- コンビニでお釣りを募金する
- 会った人を笑わせる
- トイレを掃除する
- 毎朝、全身鏡を見て身なりを整える
- 夢を楽しく想像する
- 運が良いと口に出して言う
- 身近にいる一番大事な人を喜ばせる
- 人の長所を盗む
- やらずに後悔していることを今日始める